

計画の名称	22 緊急輸送道路網の構築に資する道路整備計画													
計画の期間	令和 0 7 年度    ~    令和 1 1 年度    (5年間)										重点配分対象の該当	○		
交付対象	横浜市													
計画の目標	地震等の大規模災害発生直後から基幹的な道路ネットワークが機能停止する事態を防ぎ、救助活動や物資等の緊急輸送等を円滑かつ確実に行うため、道路ネットワークの機能強化を図ります。 災害発生時に拠点となる施設への避難経路を確保し、人的被害の発生を軽減させます。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		41,429	A	41,429	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7		R11
1	横浜市強靱化地域計画に基づく円滑な道路ネットワーク機能の確保			
	横浜市強靱化地域計画に基づく幹線道路整備事業の整備延長（R7～R11）	0%	%	100%
	幹線道路整備事業の整備延長（R7～R11） 本計画における幹線道路整備延長（3km）/ 目標延長（3km）			
2	緊急輸送道路等の防災上重要な道路の通行機能確保に資する橋梁の耐震化率の向上			
	横浜市強靱化地域計画に基づく緊急輸送道路の防災上重要な道路における橋梁の耐震化対策完了数（R7～R11）	0%	%	100%
	橋梁の耐震化数（R7～R11） 耐震化対策完了数（2橋）/ 要対策数（2橋）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	鴨居上飯田線	バイパス 1.6km	横浜市						22,720		-
	A01-002	街路	一般	横浜市	直接	横浜市	S街路	改築	桂町戸塚遠藤線（高島橋 ）	現道拡幅（橋梁架替）	横浜市						4,700		-
	A01-003	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	国道	改築	国道133号(辨天橋)	橋梁耐震	横浜市						760		-
	A01-004	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	市町村 道	改築	（市）長津田奈良線（奈 良中央大橋）	橋梁補強	横浜市						1,019		-
	A01-005	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	都道府 県道	改築	（一）川崎町田（恩田地 区）	バイパス整備 1.2 k m	横浜市						5,396		-
	A01-006	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	国道	交安	一般国道 1 号(不動坂交差 点)	立体横断施設	横浜市						1,878		-
	A01-007	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	都道府 県道	交安	(主)原宿六ツ浦(笠間交差 点)	交差点改良	横浜市						1,856		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-008	道路	一般	横浜市	直接	横浜市	市町村 道	改築	（市）環状 4 号線（北町 地区）	交差点改良	横浜市						3,100		-
											小計						41,429		
											合計						41,429		

